

養父市文化会館(仮称)整備基本計画(案)についてのご意見と市の考え方

No.	ご意見	市の考え方	基本計画への反映
1	<p>①水路を活かした親水空間 敷地の嵩上げは一部なのだろう、現在の水路は地下暗渠式にすれば、工事は簡単だ。しかし、親水池などで高さを調整し、水路の深さは現行よりもっと浅くなくてもいいだろう。(参考、農事用の資料は日光診療所の駐車場とその下流の溝、今や求められる水量は少なくなっている。)でも親水空間には稲の生育期間だけでなく、常に水が流れていることが求められる。従って八木川沿いの導水路の管理も配慮されたい。</p> <p>②堤防沿いの道路、諏訪橋詰め一旦停止位置(関電柱大森13横)は、坂道の部分は嵩上げし、市道宮越諏訪町線と同じ高さとされたい。また、山側のブロック塀も撤去または低くして、視界の改良を図られたい。</p> <p>③諏訪橋への坂道は、降雪の際まま上がれない車もある。諏訪橋～諏訪神社前の消雪装置を設置されたい。</p> <p>④諏訪町の避難場所について、現在諏訪町には、災害時の適切な避難場所がない。文化会館に、それなりの場所を期待する。</p>	<p>①親水空間の整備は、水利関係者と十分協議しながら計画をすすめます。</p> <p>②市道諏訪町2号線(堤防沿いの道路)の市道宮越諏訪町線との交差点の視距については、安全性を確保できるよう計画をすすめます。ブロック塀は、景観活用エリアを除いて撤去します。</p> <p>③市道宮越諏訪町線への消雪装置の設置の計画はありませんが、通常除雪により対応します。</p> <p>④建設予定地は、養父市防災マップにおいて、0.5m以下の浸水想定区域とされており、基本計画(案)では、施設整備にかかる諸条件として記載しています。養父市文化会館(仮称)(以下、「新文化会館」という。)は、浸水対策を講じたうえで、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定する予定です。</p>	<p>①7ページ (3)水路 4行目 「整備及び維持管理などについては、水利関係者と協議しながらすすめます。」と追記します。</p> <p>④3ページ 2 施設整備にかかる諸条件 3行目 「また、新文化会館は、浸水対策を講じたうえで、指定緊急避難場所及び指定避難所への指定を予定します。」と追記します。</p>
2	<p>①八鹿駅待合室のリニューアルプランと連動させ一体感を持たせることで八鹿駅待合室を新文化会館のショーウィンドーとして位置づけ(ミニイベントも可とする)、八鹿駅から新文化会館迄をコンコース化。地元のアーテ</p>	<p>①③④ご意見いただきました内容は参考にさせていただきます。魅力ある新文化会館を目指していきます。</p> <p>②八木川は建設予定地が持つ資源として、景観の活用や河川堤防の散策路としての利用なども考慮しながら</p>	

<p>イスト・高校生等に等間隔に共通テーマを持ったオブジェを作ってもらい、街区として息吹を吹き込み市民の手で育てていく。アテガワレルのではなく 10 年越しの市民参加型事業とすることでより一層街に愛着が湧く。</p> <p>②土手を階段状にした公園エリアから八木川へのアプローチ、水遊びができる仕様と河川敷を散歩道に（有馬のような造り）。</p> <p>③公園エリアは賑わいの場。曜日を決めてマルシェを開催。県下のジビエ業者を集めたジビエフェスタの様なイベントも開催できる様、ブース或はキッチンカーが入れる様な設計とする（2021 年ワールドマスターズゲームス開催期間中は連動企画イベントを開催）。マルシェのない日にはグランドゴルフ場としても活用も。また、八木川に近い方の一区画に BBQ ができるカマドを用意。天災被災時の活用も視野にトイレに変わるベンチ等も配備（増水時に浸水しないだけの高さ確保は必要）。</p> <p>④公園エリア周辺の樹木、花壇は市民・地元学生の手で育成・メンテ。</p> <p>⑤新文化会館本体は地元の木材を使った意匠にすべき。木構造が理想的。</p> <p>⑥ホールには可動式の仕切りを持つことで大箱を小分けにできる様にならないか。小型イベントでの使い勝手を向上させる方が稼働率はあがるはず。</p> <p>⑦養蚕史はゲンゼ事務所跡（景観活用エリア）の中に纏める。かいこの里、大屋大杉重伝建との関連付けに工夫が必要（夫々を周遊に資する様磨く）。</p>	<p>計画をすすめます。土手（護岸）の改修は考えていません。</p> <p>⑤基本計画（案）では、新文化会館の整備にあたり、養父市及び兵庫県産材の活用に努めることとしています。</p> <p>⑥基本計画（案）では、優れた音響のホールを目指すこととしています。ホールの間仕切りは音響への影響があるため、困難と考えています。</p> <p>⑦ゲンゼ八鹿工場事務所棟の活用については、今後検討します。</p>	
--	---	--

3	<p>養父市文化会館建設にあたっては、設計では外観についてできうる限り、簡単シンプルにしていきたい。経費がかかる凝った作りではなく、機能性、耐久性重視をお願いします。すぐに蜘蛛の巣、ツバメの巣で汚れるのでその対策も考慮願います。</p>	<p>養父市文化会館（仮称）整備事業は引き続き施設の設計を行います。建設コストだけでなく、維持管理コストや長期的な利用を視野に入れ、計画をすすめます。</p>	<p>6 ページ 1 建設予定地の資源と活用方針 3 行目 「また、建設コストだけでなく、維持管理コストや長期的な利用を視野に入れ、計画をすすめます。」と追記します。</p>
4	<p>昭和 22 年から 23 年頃、八鹿高校に勤務していました。その頃は、八鹿の商店街はとても賑わっていました。今は寂れてきていますが、旧街並みを維持するためにも、ゲンゼの跡地に建設するのは賛成です。</p>	<p>基本計画（案）では、旧街道の歴史的景観を建設予定地が持つ資源として活用することとしています。</p>	
5	<p>養父市新文化会館の建設は、文化芸術のみならず、地方創生を実現し、持続可能なまちづくりの拠点となる重要な事業であります。 施設を異常気象【浸水等】に耐えうる（非常時には一時避難施設）施設として、複層的に活用できる様検討が必要と提案します。</p>	<p>建設予定地は、養父市防災マップにおいて、0.5m以下の浸水想定区域とされており、基本計画（案）では、施設整備にかかる諸条件として記載しています。新文化会館は、浸水対策を講じたうえで、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定する予定です。</p>	<p>3 ページ 2 施設整備にかかる諸条件 3 行目 「また、新文化会館は、浸水対策を講じたうえで、指定緊急避難場所及び指定避難所への指定を予定します。」と追記します。</p>
6	<p>①冬の日でも遊べる、室内でも遊ぶことのできる施設がほしいです。</p>	<p>①施設は市民の憩いの場として、キッズルームを設置し子育て世代の交流の場となる施設を目指します。</p>	

	<p>②公園に小さい子供でも遊べる遊具がほしいです。（たまに行く公園では大きな子供が多く、小さい子供が危険に感じる事が多いので）かご型のブランコ（赤ちゃんブランコ）など設置希望です。</p>	<p>②公園機能は、建設予定地が持つ広さや豊かな自然を活かし、子どもたちが、安全で自由に遊び場を選べるような広場とするように考えており、遊具の設置については慎重に検討します。</p>	
7	<p>養父市の財源はなんのでしょうか？固定資産税は財源ではないのでしょうか。それを減らすことを考えるのが市政のすることでしょうか。養父市文化会館ですよね。八鹿文化会館ではないですよね。旧八鹿町内住宅地に養父市の文化会館を持ってくるのが適切だとは思えません。土地の有効利用？果たしてそうなるのでしょうか。市役所前の旧八鹿酒造の景観は写真、絵、ネットなどでもよく見る光景です。それだけ里山の中に溶け込んだ文化遺産といえます。その並びに巨大な建造物を並べてバランスはとれるのでしょうか。何が価値があり何をよしとするのかよくわからない候補地です。候補地がないのなら単純に 現文化会館跡地に建てればよろしい。文化会館の建て替えに反対ではありません、（地元の経済効果はあるわけだから）ただその経済効果をマイナスにしてしまう土地選定はありえない。</p>	<p>建設予定地は、養父市文化会館（仮称）建設基本構想のとおり、養父市総合計画や養父市都市計画マスタープランなど上位計画との整合性、地域活性化への貢献、施設へのアクセスなど市民の利便性、実現可能性の観点から、グンゼ八鹿工場跡地としています。所有権が市に移転することにより、当該土地にかかっていた固定資産税はなくなりますが、未利用の工場跡地の利活用は、まちの玄関口である八鹿駅から連なる中心市街地の維持、発展を図るうえで重要です。まちなかに人が集まることで新たな人の動線が生まれ、周辺地域への波及効果も大きいと考えています。また、新文化会館は、周辺の風景と調和し、八木川やまちなみなどの景観とマッチした建物となるよう計画します。</p>	
8	<p>①ホールの固定席について八鹿文化会館と同規模にすべき。市川町を参考としているが当市の人口で比較した場合、当市が市川町の人口の倍以上ある。つまり市川町を参考するなら固定席は倍の1300席になる。それでは近隣</p>	<p>①ホールの座席数は、市民主体のイベントが積極的に展開でき、養父市のこれからの文化を創り、人を育てる拠点施設とすることを目的に、概ね650席としています。検討した内容については、基本計画（案）P16、</p>	<p>②29 ページ (3) 図書館機能 5行目 「また、利用者へのきめ細かいサービス提供のた</p>

	<p>市町との類似施設の規模と相対的に過大になるので現状維持の 880 席にすべき。</p> <p>②図書館についてネットワークをするといっているが図書館がないのは兵庫県では当市のみで文化的な水準が劣っていて恥ずかしいことではないか。この際なので本格的な図書館にするべく最大限の蔵書数と図書館司書を配置した施設にすべき。</p> <p>③ホールも図書館も次世代に恥じない施設とするべき。ホールはフルオーケストラが舞台にすべての舞台にすべき。図書館に関しては CD、DVD の貸し出し業務をすべき。内容は演歌、フォーク、ニューミュージック、アイドル、流行歌、J-POP、アニメソング、イージーリスニング、映画音楽等を蔵書すべき。これは日本全国の図書館の標準的な形である。</p> <p>④周辺の道路に関して八鹿停車場線を変更し、市の取得した土地を県に無償譲渡し、下町橋を県に全て付け替えさせる。その際に自動車、自転車、歩行者が通行できるように自動車通行 2 車線、歩道を整備すべき。その際に京口堤防線を県道化し八鹿朝倉線も県道化し県道を朝倉交差点で国道 9 号八鹿バイパスにタッチさせる。来訪者および市民にわかりやすい新たな導線をつくるべき。</p> <p>この事業が速やかに進む事を期待している。</p>	<p>17 に記載のとおりです。</p> <p>②新文化会館は図書館機能を有する施設として整備し、図書館司書を配置します。</p> <p>③新文化会館は、主目的を音楽活動として優れた音響のホールとし、多様な利用に対応することを目指します。舞台寸法については、基本計画（案）P20 に記載のとおりです。図書館に行けば養父市が分かるよう、一般書は勿論、歴史や自然などの郷土資料や行政資料の収集整理に努め、子どもから高齢者まで、本に親しみ、市民の知る喜びを支える場にしていきます。</p> <p>また、どこでもサービスを受けることができるよう市内公民館図書室のネットワークを維持していきます。CD、DVD の貸出業務は考えていません。</p> <p>④まちづくりの面では、大きな視点に立った道路網の整備が必要であると考えていますが、新文化会館整備に際して、周辺道路の大規模な建設等の計画はありません。現状の道路を使用しながら、来訪者へのわかりやすい案内と安心に利用していただけるよう整備をすすめます。</p>	<p>め、図書館司書を配置します。」と追記します。</p>
9	<p>①財源について、今回の計画については、道路整備や景観活用エリアを除いて、概ね 3 5 億円とのことであるが、</p>	<p>①基本計画（案）P43 に記載する事業費は、設計費や工事費など新文化会館の整備に必要な総費用のうち、道</p>	<p>④34 ページ 2 施設規模計画 表中</p>

<p>あくまでも概算であると思うが、除いている事業、それに関わる試算、現施設の撤去、整備費用等、また跡地の利活用についての計画が示されていないが、この計画から派生する全ての見込まれる総事業費はどの程度見込んでいるのか。一つ一つ事業ごとに小出しにしないで、財政計画とあわせて示すべきではないか。あわせて、施設運営に関わるインシヤルコストについて、現状からどうかかわるのか。将来的な予算措置はどの程度膨らんでくると見込んでいるのか。</p> <p>②主な財源を合併特例債を充てるようであるが、国県からの補助金はどの程度見込んでいるのか。P43に記載のあるように、市始まって以来の大規模事業であるわけだが今まで同様に特例債による起債だけでなく、大型建設事業に関しては住民の賛否も大きく分かれるところであって、財源確保の段階から住民参画を進めていく必要があると思う。住民参加型公募債の発行を検討し、財源の何パーセントかを住民から募ることも必要ではないか？ (住民意識の向上を図る目的もある)</p> <p>③ホールの部分は必要性を感じてはいるものの、図書館については図書館要望論が多いのも理解するが、建設してみたは利用度が少ない・・・なんてことになりはしないか。現計画(案)段階でも、図書館のピーク時の入場者数を13人と想定しているわけで、一年365日毎日ピーク人数だとしても年間5000人にも満たないわけで、複数利用を考えると実質利用者人数はさほど多くないと予想される。従来と同様の図書室とした場合と、本</p>	<p>路整備費及び景観活用エリア整備費を除いたものです。インシヤルコストだけでなく、ランニングコスト及び長期的な維持修繕計画も検討し、計画します。また、跡地の利活用は、別途検討します。</p> <p>②新文化会館の整備に際し、養父市が活用できる国県の補助金がない現状において、市財政への将来の負担も考慮し、合併特例債を主な財源としています。住民参加型市場公募債は、金利環境等を考慮し、現状では導入する予定はありません。</p> <p>③基本計画(案)P33に記載するピーク時の来館者人数とは、1日のある時間に同時に来館者数が最大となる時の人数としています。1日あたりの来館者の合計人数とは異なります。新文化会館の整備は、インシヤルコストだけでなく、ランニングコスト及び長期的な維持修繕計画も検討し、計画します。</p> <p>④基本計画(案)P34に記載するラウンジは、施設の利用者や出演者だけでなく、立ち寄られる方が喫茶、軽食ができるスペースを予定しています。</p> <p>⑤新文化会館は、ホール機能、公民館機能、図書館機能、公園機能を備える施設として整備します。複合施設の長所を活かし、各機能の連携により利用しやすく魅力ある施設を目指します。図書館に行けば養父市が分かるよう、一般書は勿論、歴史や自然などの郷土資料や行政資料の収集整理に努め、子どもから高齢者まで、本に親しみ、市民の知る喜びを支える場にしていきます。</p>	<p>「喫茶・軽食ができるスペース」 と追記します。</p>
---	---	------------------------------------

	<p>計画上の図書館とした場合の財政上の違いを明確にするべきではないか。</p> <p>④本計画の施設の中で、いわゆる食堂というか飲食ができる施設が明示されていないのはなぜか。近隣で民間が開業することも考えられないわけではないが、特産品を中心にしたメニューなど扱うレストランも必要ではないか。</p> <p>⑤今回の計画については、図書館法上の図書館となるようで、基本的には文化会館の中に一緒に同居することは好ましくないと考えている。ホール、会館利用と図書館利用については別の人が利用するのではないかと思う。図書館スペースをレストラン等に変更し、図書館についてはその利用料や他市との連携を図るなど別の視点で考えて、その必要性も考慮しながら時間をかけるべきではないかと思う。</p>	<p>また、どこでもサービスを受けることができるよう市内公民館図書室のネットワークを維持していきます。</p>	
10	<p>お金と理想の狭間で苦労と妥協の結果で同情をするが、基本構想に関わった者としては残念で、物足りない。おおざっぱに言って、第1章、2章の理念が3章以下でいかされていないのではないか。原石を磨き上げようとしているのに現実の前に石ころになった。</p> <p>現在あるものや近隣のデータで納得できるものを引き出そうとしているのは分かるが、同じ借金なら未来から眺めた理想が欲しい。現在あるものの延長線上にしかない気がする。</p> <p>「大は小を兼ねる」これは生きている。この視点も抜</p>	<p>新文化会館は、文化芸術の拠点として将来にわたり、愛着を持って利用され、地域の文化を守り育み、ふるさとへの誇りを一層高める役割を果たすとともに、市民はもちろん、市外からも気軽に立ち寄り、養父市の文化、芸術、伝統、風土が醸し出す魅力を感じられる場所を目指しています。一方で、市財政への過度の負担を避けるため、無駄を排除しつつ、必要十分な機能を満たす施設として整備します。基本計画（案）を基に設計をすすめていきますが、引き続き、市民の意見をお聞きしながら、愛着を持って利用していただける</p>	<p>①3ページ 2 施設整備にかかる諸条件 3行目</p> <p>「また、新文化会館は、浸水対策を講じたうえで、指定緊急避難場所及び指定避難所への指定を予定します。」と追記します。</p>

<p>けている。</p> <p>少子化、人口減のなかで、こんな街にこんな施設があるとびっくりさせられないか。人口が 26,000 の街に国家戦略特区を受けた意気込みをもう一度。</p> <p>但馬のどこにでもある施設をもう一つ増やすのではなく、「これは養父に行くしかない」と思われる施設や内容にする</p> <p>従来より入館者が増える仕掛けはないのだろうか。一度来たたら一寸覗いていこうと思うものが欲しい。また、毎日でも来たいと思うものはないのだろうか。</p> <p>具体的に、</p> <p>①防災の視点が欠落してはいないか。土地造成に関しては 50 cm以上の埋め立てが必要ではないか。これは今は別問題かも知れないが。また、避難所として、ボランティア受け入れセンターとしての視点がでないではないか。</p> <p>②図書室はもっと広くして充実し、個々にいろいろな仕掛けをする。</p> <p>③狭い部屋が多く、使い勝手が悪い。</p> <p>④便所の数が適切か。</p> <p>⑤民家よりはるかに高い建物で、東側に建つので日照権の問題は生じないのか。</p> <p>⑥多目的に使える自由広場が欲しい。養父市の顔の部屋とか気軽に遊べる部屋、市民の団体が短期に使うとか。</p> <p>⑦養父の埋蔵文化財の一時展示、フォークアートの作品の一時展示とかの部屋</p> <p>⑧市の職員でありながら本屋さんとして営業するとか。</p>	<p>場所を目指していきます。</p> <p>①建設予定地は、養父市防災マップにおいて、0.5m以下の浸水想定区域とされており、基本計画（案）では、施設整備にかかる諸条件として記載しています。新文化会館は、浸水対策を講じたうえで、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定する予定です。</p> <p>②③⑥⑦⑨頂いたご意見は今後の参考といたします。</p> <p>④トイレ及び便器の数は『ホール・劇場トイレの適正器具類の算定方法について（空気調和・衛生工学会）』、『オフィストイレの適正器具類の算定方法について（空気調和・衛生工学会）』を参考に算定しています。基本計画（案）P34に記載する内容を基準とし、設計時に検討します。</p> <p>⑤施設の配置は、基本計画（案）P35に記載する『機能配置計画』に記載のとおり、八木川沿いの景観及び住宅地への日影、騒音などの影響を考慮した位置に配置します。</p> <p>⑧職員は、兼業できませんが、官民協働などを視野に入れて検討します。</p>	<p>⑧29 ページ (3) 図書館機能 5行目</p> <p>「また、利用者へのきめ細かいサービス提供のため、図書館司書を配置します。」と追記します。</p>
---	--	--

	<p>勿論司書と兼ねるとか。</p> <p>⑨ATMは入口から遠くに設置する。現在の八鹿のようでは危険である。</p>		
11	<p>①小会議室（10名用）は、必要が無い。大は小を兼ねるとして、中会議室を増やす方法の方が良い。いっときに多くの小会議室の必要性が生じた場合の措置として、中会議室を二分するためのアコーディオンカーテンを使用する方法もある。</p> <p>②大会議室と中会議室を続けた間取りにして、通常は、板戸で仕切り別々の室として使用する。なぜなら、ホールでは広すぎるような講演会、イベントなど、150人程度の催し時に、板戸を外し中ホールの使用も可能と考えられる。但し、大会議室には仮設用の舞台を設置。</p> <p>③和室は、2室は不要と考える。1室でも多く洋室にしておけば、会議室が増える。なお、複数必要なときは、畳のゴザ・カーペットなどを利用すれば間に合う。</p> <p>④常時使用できる展示スペースが必要である。展示物が余裕を持って見学できるスペースであること。</p> <p>⑤ホールの上下袖の動線外に小部屋があれば、舞台出演時、役者の早着替え、または大道具はけ箇所にも使用出来ると思う。（ホール備品庫にも）</p> <p>⑥ホール搬入口扉は、開演中でも道具の出し入れの出来るような作りをする。（無音扉等）</p> <p>⑦ホールの楽屋・通路の広さ、ステージ廻りの空間が必</p>	<p>①②③⑤⑥⑧⑩⑪⑭⑮諸室の規模は、基本計画（案）P34に記載する内容を基準とし、計画します。頂いたご意見は今後の参考といたします。</p> <p>④展示スペースはエントランスホールを利用し、計画します。</p> <p>⑦楽屋の広さは基本計画（案）P28に記載する内容を基準とし、計画します。通路などは、利用しやすい広さを確保します。</p> <p>⑨搬出入車両は、11t車を想定し新文化会館の配置に応じて、西側、搬入ヤードからのアプローチも検討しますが、歩行者動線との分離や周辺道路への見通し等、安全性に十分配慮した計画とします。</p> <p>⑫ユニバーサルデザインの考え方に即して計画します。</p> <p>⑬安全面には、十分配慮し計画します。</p> <p>⑯保存されている能舞台は、新文化会館においても活用に努めます。</p>	

	<p>要である。</p> <p>⑧ホールスタッフの研修室（スタッフルーム）が必要。</p> <p>⑨搬出・搬入の折、一方通行では、11 t 車の通行が可能であるか疑問。</p> <p>⑩キッズルームをもっと広くするほうがよいのではないか。</p> <p>⑪図書館の充実を望む。（スペースを広くすること） 公園スペース等を縮小しても、図書館のスペースを広げる方が良い。図書館は、書架を備えるだけでなく、集団の子ども達を迎えて読み聞かせをする場所、また複数の親子などで本を楽しめる空間も必要であると思う。</p> <p>⑫老若男女、障がい者を問わず、利用しやすい空間であること。</p> <p>⑬景観の良さを考えることも必要であるが、まずは安全面を優先すること。</p> <p>⑭使用するにあたり、使用しづらかったり、無駄な動線にならないような作りにすること。</p> <p>⑮ラウンジに、休館日以外、常時利用できる食堂をお願いしたい。</p> <p>⑯現在、八鹿文化会館には、組立の能舞台が保存されています。但馬でも他に類を見ないような能舞台なので、これを利用するようなホールにならないでしょうか。</p>		
12	<p>基本計画（案）において、域内を流れる水路について、農業用水路としての機能維持、安全対策実施、また、部分的に親水性を高めた中で水路を活かした親水空間など</p>	<p>基本計画（案）では、P6、7に記載のとおり、建設予定地内を通る、地域を支える水路は、農業用水路としての機能を維持しつつ、安全対策を行い保全すること</p>	<p>①7ページ (3) 水路 4行目 「整備及び維持管理など</p>

	<p>の憩いの場づくりといった表現があります。</p> <p>一方で、そこに至る八木川に沿った用水路においては、今般の台風等による大水などで土砂が堆積してしまい、結果としてグンゼ敷地内に水が入らない事案が発生しています。</p> <p>計画通りに施設等が竣工した場合でも、今後の気象状況等により同様の事態が生じることが十分に想定されるところです。</p> <p>私は、当該水路を利用する大森農会に所属する者であり、今般の土砂の撤去等に当っても関係地区・区長等と連携しながら対処にあたる所存ですが、今シーズンだけでも2度の土砂堆積事案を数える中で、今後の対応に非常に苦慮しているところです。</p> <p>財政的な課題はもちろんのこと、大森農会のメンバーも現在で約10人、それぞれに高齢化も進み、また、跡継ぎの確保もままならない中で設備の維持管理に大きな不安を抱いています。</p> <p>また、農会としては、発災以降春の田植時期までに土砂撤去ができ通水すれば良いのですが、親水空間などの場合にはそういうわけにもいかないのではと考えます。</p> <p>つきましては、本計画（案）において当該区域に接続する水路の管理等につきましても何らかの手立てを加えていただきますよう意見いたします。</p>	<p>を方針としています。</p> <p>親水性を高める具体的な方策については、関係者の皆さんと協議しながらすすめていきたいと考えています。</p>	<p>については、水利関係者と協議しながらすすめます。」</p> <p>と追記します。</p>
13	<p>養父市民の読書量は少ないとされてきた。古い資料だが、平成2年、但馬教育事務所の調査によると、養父郡4町</p>	<p>①開館日や開館時間等の管理運営は引き続き検討していきます。</p>	<p>④29 ページ (3) 図書館機能 5行目</p>

<p>の図書購入予算は少なく、八鹿町は最下位を免れたが、他の一町も少ない方から3番目だった。その後、公共図書館の貸し出し冊数が一つのバロメータとなった時期もあった。</p> <p>一方で、子育て世代の母親や読書好きの女性による読み聞かせの輪が、養父市にも生まれた。他市町ではこの波が市民運動として高まり、新しい図書館のあり方を研究する輪となり、「無料貸本屋」から脱皮して市民を巻き込んだ図書館運営を実現し、評価を高めた自治体が増えている。</p> <p>その後養父市では、市民の読書量が高まったとは思えないし、市民や社会教育委員による検討や視察はあったが、その取組みが途切れることもあった。市民の「図書館を欲しい」という待望論の中には、県下で養父市だけ図書館がないという、「欲しい 欲しい」病的なものも含まれる。</p> <p>整備基本計画(案)が示され、平成33年度の共用開始が決まった。過去の取組みで欠如してきたものをどう把握し、「無料貸本屋」から脱皮した「知の拠点」づくりを進めていくのか。</p> <p>①平成28年12月発表の「養父市文化会館(仮称)建設基本構想(案)」には、図書館機能について7人から意見が寄せられたが、市の答は「今後策定する養父市文化会館(仮称)整備基本計画において検討する」というものだった。今回の整備基本計画(案)に若干の説明(29頁)はあるが、年間開館日数や開館時間その他、整備基本計画で検</p>	<p>②新文化会館は、ホール機能、公民館機能、図書館機能、公園機能を備える施設として整備します。複合施設の長所を活かし、各機能の連携により利用しやすく魅力ある施設を目指します。図書館に行けば養父市が分かるよう、一般書は勿論、歴史や自然などの郷土資料や行政資料の収集整理に努め、子どもから高齢者まで、本に親しみ、市民の知る喜びを支える場にしていきます。</p> <p>また、どこでもサービスを受けることができるよう市内公民館図書室のネットワークを維持していきます。養父市文化会館(仮称)整備事業の実施にあたり、市民の意見をお聞きし、愛着を持って利用していただける場所を目指していきます。</p> <p>③新文化会館の管理運営は、直営を予定していますが、市民参画や指定管理も含め、官民協働などを視野に入れて検討します。</p> <p>④図書館に求められるものとして、レファレンスサービスの重要性は認識しています。新文化会館は、レファレンスサービスを充実させるため、図書館司書を配置します。</p> <p>⑤全国の図書館には、指定管理など、特色ある事業運営やサービスを行っている施設がたくさんあります。新文化会館は、ホール機能、公民館機能、図書館機能、公園機能を備える施設として整備します。複合施設の長所を活かし、各機能の連携により利用しやすく魅力ある施設を目指します。</p>	<p>「また、利用者へのきめ細かいサービス提供のため、図書館司書を配置します。」と追記します。</p>
---	--	---

<p>討結果が示されているとは思えない。</p> <p>また、建設基本構想(案)に寄せられたパブコメ「No.20」は、「委員会メンバーに専門知識のある方がいない」し、「市民意見を求める内容ではない」から「手続き進行を急ぐあまりの拙速感は免れない」。その他司書についても言及されているが、整備基本計画(案)で答えていないのはなぜか。</p> <p>②第2次総合計画(平成23年度策定)では図書貸し出し数だけの議論で終わったが、当時は市・議会とも「貸し出しだけではだめ」という、当時すでに進んでいた公共図書館の先進事例すら知らなかった。ハコをつくり、本をそろえるだけの事業なのか。図書館整備に向けた調査研究が欠けてきた養父市として、①、②も含め、設計着手までに市民説明できるのか。</p> <p>③指定管理者制度は、公共図書館にも大きな影響をもたらしている。養父市も指定管理施設に頼らざるを得ない現状にあるが、平成22年の日本図書館協会声明を受け、自治体直営の図書館の現場では指定管理者の導入に反対の声が多い。指定管理施設としての公共図書館は約400施設と増えつつあり、全国の公共図書館(3,200)の10%を超えている。メリット、デメリットを振りかざした反対論に対し、指定管理制度を導入した自治体では、官民合わせてメリットを模索してきた。自治体直営の図書館に比べ閉館日が減り、開館時間が延びるなど歓迎する市民もある。新図書館の運営について、整備基本計画(案)には示されていないがどう考えるのか。</p>		
--	--	--

	<p>④指定管理者制度を導入した武雄市民図書館は、養父市をはじめ自治体図書行政担当者に大きな衝撃を与えた。これからの公立図書館には、様々な運営体制をもとに、新たな読書空間の演出、レファレンスサービスの強化など、利用者サービスの視点を強化する必要があるのではないか。従来の読書サービスの機能だけでなく、情報のアクセスポイントとしてレファレンスサービスの充実と利用促進をはかり、市民の課題を解決するサービス強化を追及すべきではないか(レファレンスサービスの充実が広がっている中で、整備基本計画(案)にはその言葉もない。なぜ?)</p> <p>⑤全国大半の図書館同様、養父市でも図書館は行政的にも末端のそのまた末端にある。市長部局の脇に教育委員会があるが学校教育がメインストリーム。またその脇に社会教育があり図書館がある。ここ 30 年間にインフラ整備や合併、さらに財政悪化という課題もあった。今回の事業に限らず、ネット社会による情報収集は便利になったが、それに頼り過ぎてはいないか。先行する図書館の現場も知らずに批判するだけでは、市民ニーズが多様化・拡大化し、その変化も早くなっている時代に市民要望に応えられないと思うのだが。</p>		
14	<p>①ホールの機能について、ホールの整備は、検討に検討を重ねて良いものができると期待できる一方、大屋や関宮の小さなホールが、機材や設備の老朽化を理由に、いざれ切り捨てられるのではないかと危惧される。小さな</p>	<p>①市内にあるホール、公民館は地域の活動拠点であるため引き続き使用していきませんが、すべての施設を維持管理していくことは困難であると考えています。</p> <p>平成 24 年の「養父市公民館・ホールの今後のあり方に</p>	<p>① 2 ページ (3) 養父市文化会館(仮称)建設基本構想 1 行目</p> <p>「平成 24 年 2 月に養父市</p>

	<p>ホールには小さなホールの役割がある。決して切り捨てがないようにしていただきたい。住む地域によって、同じ養父市民でも文化格差がある。これ以上文化格差が広がらないよう、「文化会館整備後」をイメージして計画を進めていっていただきたい。</p> <p>②図書館機能について、4館ネットワークは素晴らしい仕組みだが、まだまだ十分に知られていない。インターネットを活用した4館ネットワークの利用を促進しつつ、新しい図書館に足を運んでもらえるような運営上の工夫が必要だと思う。</p> <p>③いろんな世代の居場所について、ペア閉店以降、高校生の居場所がコンビニにシフトしているいろいろな問題が指摘されている。子育て世代、若者世代、シニア世代、いろいろな世代にとって「誰もが気軽に寄れる場所」というのは理想ではあるが、運営の工夫も必要と思われる。工夫できる余地を残した設計を期待する。</p> <p>④水路を活かした親水空間について、実際の設計や建築においては、建築デザイナーの意見が優先されるかもしれないが、市内の小中学校、園の統合・改築で現場の意見を無視して進めたために、すぐに直さなくてはいけなくなった部屋や使えない無駄な空間が作られた例があることを、よくご存知のはず。水路を活かす計画においては、地元の人の知恵や意見をとり入れて、無駄にならないものをつくっていただきたい。</p>	<p>について」の報告にある、「将来的には4つのホールを統合した新ホールを建設することが望ましい」との方向性に沿いながら、集約を行っていきます。各地域では、それぞれ独自に価値の高い文化活動を続けられています。これらの活動を今後も継承し、発展させていくことは、新文化会館の重要な役割であると考えています。</p> <p>②図書館に行けば養父市が分かるよう、一般書は勿論、歴史や自然などの郷土資料や行政資料の収集整理に努め、子どもから高齢者まで、本に親しみ、市民の知る喜びを支える場にしていきます。</p> <p>また、どこでもサービスを受けることができるよう市内公民館図書室のネットワークを維持していきます。</p> <p>また、レファレンスサービスを充実させるため、図書館司書を配置します。</p> <p>③養父市文化会館（仮称）整備事業の実施にあたり、市民の意見をお聞きし、愛着を持って利用していただける場所を目指していきます。</p> <p>④水路は建設予定地の資源として活用する方針ですが、安全対策を行い保全しながら、部分的に親水性を高めることとしています。無駄な空間とならないよう、また、コストがかからないよう工夫しながら計画します。</p>	<p>公民館・ホールのあり方検討委員会から、市内1ホール体制に向けた新ホール建設について提言を受け、養父市文化会館等建設基本構想策定委員会を設置し、平成29年2月に養父市文化会館（仮称）建設基本構想を策定しました。」と追記します。</p> <p>②29 ページ (3) 図書館機能 5行目 「また、利用者へのきめ細かいサービス提供のため、図書館司書を配置します。」と追記します。</p>
15	養父市文化会館整備基本計画について、拠点施設として	市内にあるホール、公民館は地域の活動拠点であるた	2 ページ (3) 養父市文

<p>の文化会館建設には賛成し、大いなる期待を持っています。一方で一極集中により各地（旧4町）での文化活動拠点での活動が失われる可能性を深く危惧しています。提言として中心施設整備と合わせて各地のホールが果たしている機能を今後も充実させ、継続させていく方向を要望します。特に、市内4つの文化会館やホールにはそれぞれの土地の住民が育ててきた積み上げと愛着があります。また、住居と近いことからその利便性もあって生活とつながった地域文化があります。それは各地の文化祭などで満席となり、それぞれが生きがい活動や小中学生の発表の場となっていることから見えてきます。</p> <p>私の住む大屋町では29年前に旧町民を中心に募金活動で購入したピアノをきっかけに育て上げてきた文化があります。6年後にその活動拠点として建設されたおおやホールは明延鉦山閉山後の苦境を乗り越えたそれぞれの思いが原動力となっています。木彫フォークアートの継続、ベーゼンドルファーピアノを軸に集まる人達のコンサートや地域の子どもの参加などここでそのエネルギーを継承、発展させてこそ意義が深まるものがあります。一極化で発展するものも大いにあると思いますが、各地に根ざす草の根的な文化を育てていくための取り組みを続けていくことを期待しています。</p> <p>文化会館建設の計画が進んでいく中で現在各ホールや文化会館の企画担当者からの意見聴取機会があるかと思っていましたがまだのようですのでよろしく願います。</p>	<p>め引き続き使用していきますが、すべての施設を維持管理していくことは困難であると考えています。</p> <p>平成24年の「養父市公民館・ホールの今後のあり方について」の報告にある、「将来的には4つのホールを統合した新ホールを建設することが望ましい」との方向性に沿いながら、集約を行っていきます。各地域では、それぞれ独自に価値の高い文化活動を続けられています。これらの活動を今後も継承し、発展させていくことは、新文化会館の重要な役割であると考えています。養父市文化会館（仮称）整備事業の実施にあたり、市民の意見をお聞きし、愛着を持って利用していただける場所を目指していきます。</p>	<p>化会館（仮称）建設基本構想 1行目</p> <p>「平成24年2月に養父市公民館・ホールのあり方検討委員会から、市内1ホール体制に向けた新ホール建設について提言を受け、養父市文化会館等建設基本構想策定委員会を設置し、平成29年2月に養父市文化会館（仮称）建設基本構想を策定しました。」</p> <p>と追記します。</p>
--	--	--

16	<p>基本計画（案）に示された事業手法は、今回の文化会館整備事業が養父市始まって以来の大事業と記載されているにもかかわらず、設計・施工・維持管理を個別に発注する従来方式を採用するとされている。東京オリンピックによる影響や各地で毎年のように発生する災害など、現段階で予測不能なことも有り得る。その時の状況に応じて、一番良い方策を採用するのが行政の務めではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、入札不調の多発など、地方での厳しい建設業界の現状等を考慮しながら、状況に応じて最適な整備手法を選択します。</p>	<p>43 ページ 1 事業手法 4 行目 「施設整備の手法は、設計・施工・維持管理をそれぞれ個別に発注する 「従来方式」とします。」とあるのを 「施設整備の手法は、設計・施工・維持管理をそれぞれ個別に発注する従来方式を含め、工程や建設業をとりまく社会環境を鑑み、官民協働など多様な発注方式の中から最適な方式を選択します。」とします。</p>